

訪問リハビリ 事例紹介

ケース 1

開始時の状況：自宅で過ごすことが多く、廃用症候群、加齢により動作能力が低下

NEEDS：お墓参りにもう何年も行っていない。もう一度歩いていきたい

リハビリ内容：①持久力向上のための歩行練習

②自宅出入り動作練習

③歩行器操作練習（ロック操作、腰かけ休憩練習）

④坂道昇降練習

実施期間：6か月間、週2回

結果：リハビリスタッフ付き添いにて歩行器歩行で坂道を昇降し、お墓参り達成。
また来たいなあと喜ばれる。

ケース 2

開始時の状況：脊椎の手術後に老健入所され、自宅へ退所

NEEDS：手術前のように一人でシニアカーを使って近所の病院を受診したい。

リハビリ内容：①自宅出入り動作練習

②玄関から納屋までの屋外歩行練習

③シニアカー乗降練習

実施期間：退所後1か月間、週1回

結果：付き添いなくお一人で移動・乗り降りでき、シニアカーで病院受診達成
お一人での受診を継続されている。

ケース 3

開始時の状況：脳梗塞による左半身麻痺、通所リハビリを休止され、廃用性の動作能力低下

NEEDS：以前のように近所の散髪屋まで歩いていきたい。

リハビリ内容：①左半身の関節運動

②自宅出入り口動作練習

③散髪屋までのルートの屋外歩行練習

実施期間：継続中

結果：徐々に歩行距離が延びており、ご本人も効果を喜ばれている

訪問リハビリ 事例紹介

ケース4

開始時の状況：週3回人工透析中で体力低下から通所リハビリを利用できず。
動作能力が低下しており、居室内での転倒を繰り返している。

NEEDS：自宅内のトイレへ歩いていく体力を維持したい。

リハビリ内容：①四肢の筋力トレーニング
②介助による歩行練習
③トイレ内動作練習

実施期間：継続中

結果：夫の介助でトイレでの排泄が行えており、転倒も見られなくなった。

ケース他

開始時の状況：退院退所後で体力・動作能力が低下しており、自宅での生活が不安

NEEDS：体力をつけてまた通所に通いたい

近所のスーパーまで買い物に行きたい
自宅内を安全に移動したい。など

リハビリ内容：歩行を中心としたリハビリ

実施期間：1か月程度の短期間

結果：体力、動作能力は改善し、目標達成

開始までの流れ

百々園に連絡 ➡ 訪問リハビリの説明

➡ 主治医の診察と情報提供書作成

➡ 百々園施設医の診察と指示書作成

➡ リハビリ計画書作成 ➡ 訪問リハビリ開始